

北九州市の文化財を守る会

報 会

No. 59 62. 5. 15

発行 北九州市の文化財を守る会
北九州市小倉北区鍛冶町一丁目7-2
森 鷗 外 旧 居 内
電話 (093) 531-1604
博文堂印刷所
北九州市小倉北区長浜町2-22
電話 (093) 511-1011

バスによる文化財めぐり

第三十四回バスによる文化財めぐりは小倉北支部の担当で、宗像神社と志賀島の文化財を訪ねることにしました。
日時 六月七日(日) 雨天決行
会費 四千元(弁当各自持参)
募集人員 四十三人(先着順)
締切日 五月三十一日(日)
申込方法 会費を添えて事務局まで
電話での予約も可
申込先 小倉北区鍛冶町一丁目七一二事務局(森鷗外旧居内)
電話 五三一-一六〇四
若松区役所前 午前八時三十分
小倉駅北口 午前八時四十五分
九州厚生年金病院前(玄関側) 午前九時十五分
帰着 小倉駅北口 午後五時予定

見学先

宗像大社 天照大神の三女神、田心姫神・瀧津姫神・市杵島姫神を祀る神社で、辺津宮、中津宮、沖津宮の三宮を総称して宗像大社という。古くから国家鎮護、航海安全の神として神威を発揚した。宗像三神を奉斎する神社は全国で六二〇〇余社あるが、その総本山である。

昭和六十二年総会おわる

四月二十五日(土)午後一時半から市立視聴覚センター大研修室において、昭和六十二年の総会が開かれた。門司副会長の開会のことばのあと、小林会長のあいさつがあり、就任以来二年の感想を述べ、また、会の発展について会員の協力を求められた。
ついで、議長に米津副会長を選んで議題に入り、事務局より昭和六十一年度の決算報告及び事業報告がおこなわれ、そのあと大神監事より決算についての監査結果の報告があり、承認された。
また、昭和六十二年の予算案及び事業計画について事務局より説明、審議され、原案のとおり可決された。
なお、文化財保護意識の啓発について議長から補足説明と会員の協力要請があった。

ついで、任期満了に伴う役員改選については、会長に小林安司氏を万場一致で再選し、新会長としてのごあいさつをいただいた。
なお、副会長以下の役員については、別掲の方々に会則に基づき会長が委嘱した。
その他の項では、戸畑区の服部氏から「永照寺」の問題についての質問があり、米津議長から補足説明がなされた。
また、八幡西区支部長の能美氏から会報第五十八号に提起された「木屋瀬宿西構口遺構の保存を訴える」について現在までの経緯を説明され、関係団体等にも会報を配付し保存を訴えるなどの提案があり、会としてとりあげること

を決定した。
議事終了後、映画「北九州市の近代建築」が上映された。

重文 辺津宮本殿・拝殿

本殿 天正六年(一五七八)大宮司・宗像氏貞の建立。流造、柿葺正面に三間の向拝(孫庇)があり、高い基壇、亀腹の上に立っている。正面は五間とも葺戸。両側面第一の間と背面中央の間が板唐戸で、その他は白壁。四方に勾欄付きの廻り板縁がある。内部は周囲一間廻りを外陣とし、中央三間二面を内陣としている。床はすべて拭板敷

神宝館

神島出土品と辺津宮、中津宮に伝えられた美術工芸品などを展示している。

志賀海神社

祭神は底津綿津見神、中津綿津見神、上津綿津見神で、貞観元年(八五九)従五位上の神階を受け、大正五年には官幣小社となった神社。大内義隆、小早川隆景、黒田氏によって崇敬庇護され現在は漁民の信仰が厚い。社家の阿曇氏は、祖に阿曇磯良をもつ筑前の名族である。当社の山ほめ祭御神幸行事、歩射祭は必ず

重文 鏡金鐘志賀海神社蔵

総高五一・五センチ、口径三〇センチ、朝鮮鐘としては小形のもので、全面鏡金という珍しい遺例である。随所に朝鮮鐘の類型を破った点が見受けられる。
まず竜頭は虚空に向って口を開き、S字状に体を反転して、旗挿を抱く様な態姿をとっている。鐘身の上縁には連続山形文に雲球をつけた突帯をめぐらし、撞座も四ヶ所ある。上下帯と乳廓には繁雑な牡丹唐草をめぐらしている。記録がないので正確な铸造年代は不明だが、規格を破った繁雑な手法や文様から見れば、高麗時代も比較的下つたものと思われる。

市指定文化財の名称を変更

市教育委員会では指定文化財の名称を次のとおり変更しました。
上山 山古墳 ↓ 茶毘志山古墳
茶毘志山古墳 ↓ 上山 山古墳
(変更理由) 小倉南区大字貫に所在する両古墳については考古学関係者等の意見に基づき、市文化財調査委員会に諮りし、その答申を

受けて、昭和四十六年に「上山山古墳」を、同五十一年に「茶毘志山古墳」をそれぞれ指定した。

この両古墳はきわめて接近した前方後円墳であり、両古墳の名称は考古学関係者においても、従来から諸見解があったので、指定にあたっては慎重に検討して決定したところである。近年、両古墳の名称に対し「福岡県史跡名勝天然記念物調査報告書第四集」等によりどこに、考古学関係者の見解がまとまってきたので、これに基づき今後この両古墳の名称を変更するものである。

事務局だより

▼事務長として当会のお世話をさせていただきますことになりました上原一義です。よろしくお願ひ申し上げます。
▼会報第五十九号ができあがりましてのでお届けします。記事は昭和六十二年総会報告とバスによる文化財めぐりを主にしたものです。

役員名簿

Table with columns for positions (顧問, 会長, 副会長, etc.) and names. Includes a handwritten note '田中' near the 顧問 position.

昭和62年度事業計画

- 1. 組織の拡大 (会員数の拡大)
2. バスによる文化財めぐり
3. 第34回宗像・志賀島を訪ねて小倉支部62・6・7
4. 第35回未定62・10予定
5. 戸畑支部
6. 映画 北九州市の近代建築 62・4・25

昭和61年度 決算報告

S 62. 4. 1

Table with 4 main columns: 収入の部 (Income), 支出の部 (Expenditure), 予算額 (Budget), 決算額 (Actual). Sub-headers include 費目 (Item), 金額 (Amount), 内訳 (Details). Rows include 前年度金 (Previous Year), 会費 (Membership), 雑収入 (Miscellaneous Income), and 合計 (Total).

昭和62年度 予算

Table with 4 main columns: 収入の部 (Income), 支出の部 (Expenditure), 費目 (Item), 金額 (Amount). Sub-headers include 内訳 (Details). Rows include 前年度金 (Previous Year), 会費 (Membership), 雑収入 (Miscellaneous Income), and 合計 (Total).

広寿山の文化財展 III

福聚寺の仏像・法具・什器



愛染明王像

北九州市立歴史博物館では五月二十三日から企画展「広寿山の文化財展」を開催いたします。広寿山福聚寺は、寛永五年(一六五八)小倉藩主小笠原忠貞が同家の菩提寺として建立した黄檗宗の寺院です。同寺には藩主関係資料のほか黄檗美術と称される絵画・書跡・工芸品など、中国文化を色濃く伝える資料が数多く保存されています。これらの中には県・市指定の貴重な文化財も含まれており、公開を要望する声が以前からありました。しかし同寺での一般公開は管理の面や文化財保護等の立場から困難があり、特別の場合を除き今も実施されていません。歴史博物館では、こうした寺院側の事情と市民の要望とに配慮

の形式に変化があったといわれています。それはその国々によって人びとの生活様式や仏教の受けとめ方が異なるように、修行生活や儀礼にも徐々に相違が生じ、さらに不可分の関係にある仏像や法具類にも反映されているからです。黄檗宗は中国禅宗の一派として起り、日本へ伝来した後一宗を構えた最も新しい仏教ですが、その点において福聚寺に伝わる法具類には、他宗に比して中国文化を強く残しているといえるでしょう。法具類は日常の修行や法要等に必ず使用されるもので傷み易く、また福聚寺は過去二度の火難に遭い、古くからの伝承物は多くありませんが、開山即非禅師に係わるものだけは大事に保存されており、今回はそれらを中心に紹介します。休館日：毎週月曜日、6/2、6/30

講演会 日 六月十三日(土) 午後二時から 会場 市立視聴覚センター研修室 講師 梅光女学院大学短期大学部助教授 今村元市氏 入場料 無料 「黄檗宗の開立と広寿山」

- バスによる文化財めぐり一覧
1 門司・小倉の文化財めぐり
2 洞海三区の文化財めぐり
3 平尾台と周辺の文化財めぐり
4 ふるさとの盆踊りを訪ねて
5 若松・芦屋の文化財めぐり
6 長府の文化財めぐり
7 史跡の町・萩を訪ねて
8 秋の太宰府を訪ねて
9 求菩提資料館見学
10 秋月の文化財めぐり
11 「西の京」山口を訪ねて
12 天領のまち・日田を訪ねて
13 山陽路の史都・防府の文化財めぐり
14 長門市の文化財めぐり
15 城下町・中津を訪ねて
16 宇佐の文化財めぐり
17 水と緑の町・久留米を訪ねて
18 みほとけの里・国東を訪ねて
19 大江の幸若舞鑑賞
20 求菩提資料館見学
21 福島の燈籠人形と八女の文化財見学
22 筑前六宿を訪ねて
23 下関市の文化財めぐり
24 再び筑前六宿を訪ねる
25 杵築の文化財めぐり
26 遠賀川の古代遺跡を訪ねて
27 秋月と杷木を訪ねて
28 宇佐の文化財めぐり
29 北九州市周辺の文化財めぐり
30 宇佐の文化財めぐり
31 防府の文化財めぐり
32 前原町の遺跡めぐり
33 杵築の城下町探訪